

復興の目標（キャッチフレーズ）決定！

復興の目標（キャッチフレーズ）の検討にあたっては、市内の小・中学校の協力を得て、小学5・6年生と中学生から募集を行いました。

その結果、580人の児童・生徒から626件の提案があり、西予市復興対策本部また西予市復興まちづくり計画策定委員会での協議を経て、以下の提案をキャッチフレーズとすることとしました。

復興のパズル みんなでつくる 未来のカタチ

【提案者】

宇和中学校 3年 石本 みなぎ 海凧さん



このキャッチフレーズを提案していただいた石本さんに、キャッチフレーズに込めた想いをお聞きしました。

◆ 『パズル』は、一つのピースだけでは成り立たないけれど、全部が集まれば絵になる。市民や事業者、ボランティア、大学、行政などみんなが協力して、より良いまちの未来をカタチにできればいいと考え、このキャッチフレーズとしました。

提案されたキャッチフレーズについて

提案された626件のキャッチフレーズに含まれているキーワードをみると、「がんばろう、がんばる、ファイト」や「みんな、全員」、「笑顔、愛顔、スマイル」、「未来」といった言葉が多く含まれており、西予市の復興まちづくりの推進を力強く後押しする提案が行われています。

提案していただいた小学生・中学生のみなさん、ありがとうございました。

【キャッチフレーズに含まれているキーワード】

番号	キーワード	キーワードが含まれた提案数
1	がんばろう、がんばる、ファイト	119
2	みんな、全員	107
3	笑顔、愛顔、スマイル	105
4	未来	85
5	復興	73
6	取り戻す、甦る、治す、立ち直る、元に戻す	64
7	勝て、負けない、負けるな、あきらめない	60
8	歩む、一步、ひとつずつ	43
9	共に、手を取る、協力、一つになる	39
10	力	32

第3回 西予市復興まちづくり計画策定委員会を開催しました

第3回 西予市復興まちづくり計画策定委員会を平成31年3月5日（火）に開催しました。
今回が最後の委員会であり、委員の皆様から西予市の復興まちづくりの推進に向けた様々なご意見をいただきました。

■ 第3回西予市復興まちづくり計画策定委員会

日 時：平成31年3月5日(火) 15:00～

会 場：西予市役所 5階大会議室

参 加 者：委員19名

主な内容：

- ・西予市復興まちづくり計画（案）について
- ・キャッチフレーズの選定について
- ・野村町の具体的なまちづくりの検討手法について
- ・意見交換



委員会での主な意見

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・今回の災害だけでなく、南海トラフ地震等の次に起こるかもしれない災害への備えが重要。
- ・また、過去の災害から学ぶことも重要で、長期的な視点で検討を進めることが重要。
- ・今回の避難生活の経験等を活かし、避難所運営マニュアル等の充実に努めることが重要。

■ 日常の暮らしの再建について

- ・野村のまちづくりについては、地域の意向や堤防整備等を踏まえたうえで検討することが重要。

■ 産業・経済における生業の再建について

- ・復興事業においては、地元の木材等を活用する体制をお願いしたい。
- ・農業では担い手が少なくなりつつある。魅力あるまちづくりを期待する。

■ インフラ環境、まちなみ整備について

- ・仮設住宅の期限後の活用方策を検討しておくことが必要。

■ 子育てや教育環境の再建について

- ・今回の災害の記録をDVD等にとりまとめ、地域で防災学習などに活用することが効果的ではないか。
- ・ジオパークを「災害を学ぶ場」として活用していくことが重要。

■ その他

- ・相撲やマラソン、お祭りなどの復活を進めることも重要。
- ・市からの定期的な情報発信（かわら版の発行等）を継続していただきたい。多くの市民が見れるような工夫をお願いしたい。
- ・計画の推進が重要であり、これからの進捗管理等が大事。

【計画の確定について】

- ・第3回委員会の意見等を踏まえた上で修正を行い、委員長（東京大学 羽藤教授）の確認を経てから、計画（案）を最終確定することで了承されました。

今後の予定

3月末までに「西予市復興まちづくり計画」の策定を終了し、4月の広報配布時にその概要版を市内全戸にお届けする予定です。